

8月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川: 左右岸 15.0km～21.0km 管轄出張所: 岡崎・安城出張所
実施日	令和 5 年 8 月 3 日	実施区間	18.0km ～21.0km (右岸)

大きく広がる砂地の河川敷 野草群にクマゼミの鳴き声 クロアゲハの舞

8月は炎天下の3日(木)、渡橋付近を中心にモニタリングを行いました。橋上から見た河川敷は、砂地が大きく広がり、まるで海岸の白い砂浜のようでした。

野草の群生地もそれに負けないくらいの広さで、矢作川の雄大さが橋上に迫ってくるようでした。野草の群生地では、クマゼミの特徴ある鳴き声が響き渡っていました。河川敷の歩道では、クロアゲハが飛び交っていました。矢作川は貴重な生態系の源です。

ゲートボールに集う高齢者 岡崎花火大会へ注意喚起も

暑い中、テントをはり、河川敷の広場でゲートボールを楽しむ高齢者がいました。朝、8時ころでしたので、早朝から始めたのでしょうか。河川敷は様々な形で利用されています。

8月3日は岡崎の花火大会の直前の日でもありました。駐車場の入り口には、当日の利用を制限する立て看板もありました。確かにここから見れば花火はよく見えるでしょうが、ルールを守って楽しみたいものです。

安心、堤防に休憩所 残念 ペットボトルのポイ捨て

河川敷の公園近くの堤防上には、休憩所とトイレがあります。大変ありがたいのですが、ここでは、残念ながら、ゴミのポイ捨てが見られました。ペットボトル、ビニル袋などが散乱していました。心無い人は一部とは思いますが・・・。



①河川敷に大きく広がる「砂浜」と野草群



②岡崎花火大会への注意を喚起する看板



③炎天下でもゲートボールを楽しむ高齢者



④堤防上の休憩所と近くに捨てられた残念なゴミ